



Title	”Eichma s s”ハ「目盛りノナイ物差」
Author(s)	彌永, 昌吉
Citation	全国紙上数学談話会. 1935, 36, p. 1-2
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/74031
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

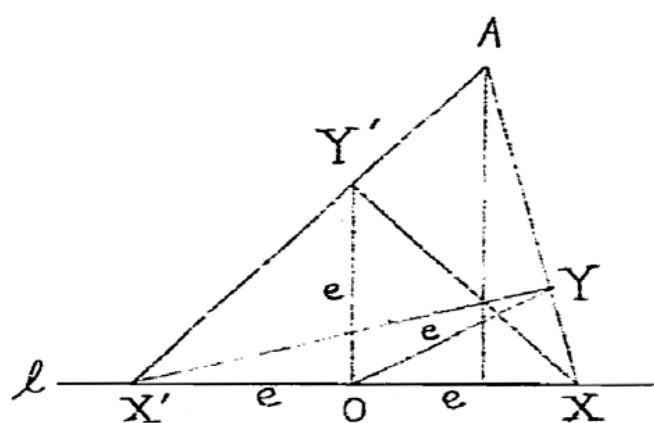
<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

109. “Eichmass”ハ「目盛ノナイ物差」

彌永昌吉 (東大)

第33号101ヲ Hilbert: *Grundlagen der Geometrie* 第七章, “Eichmass”ヲ「開キノ定ッテコンパス」ト譯シタノハ間違デシタ。“Eichmass”ハ「目盛ノナイ物差」デアルコトヲ、荒又サソガ注意シテ下サッタ。「目盛ノナイ物差」トイフノハ、與ヘラレタ直線上ノ與ヘラレタ位置ニ、定長 e ノ線分ヲ置ク道具、「定規トEichmassニヨル」トイフノハ、101ノ詔法デ (L) ト、 (A) ノ $a=e$ ノ特別ノ場合—— (A_0) ト書ク——トヲ可能トスル意味デアアル、從ツテ、Hilbertニ、 (L) 、 (A_0) デ (L) 、 (A) 、 (B) ガ出來ルコト(定理63)ガ証サレ、逆ニ就イテ何モ言ツテナイノハ當然デアッタ。逆ハ *trivial* デアルカラ、筆者ハ定理63



ノ証明中、「垂線ノ作図」(D)

デ半径 e ノ円ヲ画カナケレバナラヌヤウニ思ツテキタ。

即チ、左圖デAガ與ヘラレタ点デ、コノカラ l ニ垂線ヲ引クノニコノ図ヲ、O,

X, X'; AX, AX'; ソレカラ“円ヲ画イテ”Y, Y'ヲ求

メル順序デ作ル(若シ運悪クAガ l 上ニヤッタラ、コノ法デ

l 外ノ点カラ垂線ヲ下シテ、ソレニAカラ(C)デ平行線ヲ引

ク) — 様 = 思ッテキタ。コレハ、本ヲ町寧 = 読マナカッタカ
ラノコトデ、*Hilbert* ヲヨク見ルト次ノ様 = ナツテキル。
圖上ノ A ハ必ずしも與ヘラレタ点デハナイ、(何処 = デモ l
= 垂線ガーツ引ケレバ、與ヘラレタ点カラハ、ソレ = 平行線
ヲ引ケバヨイ) ソコデ上ノ図ヲ作ル = ハ、 O, X, X' ヲ作ツテ
後、 O カラ 任意 = 二直線 OY, OY' ヲ引イテ、ソノ上 = "*Eich-*
mass" デ Y, Y' ヲトリ、 $XY, X'Y'$ ノ交点トシテ A ヲ定メ、
云々トスレバヨイノデアル。

以上デ101ノ「疑義」ハ解決シタ、筆者ノ不注意カラ、
ソマラヌコトデ紙面ヲ汚レタ罪ヲオ詫シ、又御注意ヲ賜ツタ
荒又サン = 御礼申上ゲル。

—— 以上ヲ書キ了ツテ後高木先生カラモ御注意ヲ頂キ、
又窪田先生カラモ御教示ノ書狀が届イタ、窪田先生ハ「開キ
ノ定ツタコンパス」デコンパスニ置換ヘテヨイノハ "*Steiner*
ノ定理" オラ直グ出ルコトヲモ教ヘテ下サツタ、先生方 = 厚ク
御礼ヲ申上ゲル次第デス。